



令和元年度実施結果報告書

本評価結果は令和元年12月19日から20日に実施した「ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園」の評価報告書です。



ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園



(様式1 - 第三者評価機関公表用)

宮城県福祉サービス第三評価結果

1 第三者評価機関名

NPO 法人 介護の社会化を進める 一万人市民委員会宮城県民の会

2 施設・事業所情報

名称：ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園	種別：保育事業
代表者氏名：菅原 法子	定員（利用人数）： 18名
所在地：仙台市若林区新寺3丁目2-7 ヤカタビル1階	
TEL：022-742-1720	ホームページ： http://nichiikids.net/nursery/direct/shintera/index.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ニチイ学館	
職員数	常勤職員： 6名 非常勤職員 4名
専門職員	保育士 3名 保育士 1名
	保育補助 1名 調理員 1名
	栄養士 1名 事務員1名
施設・設備 の概要	（居室数）乳児室、ほふく及び保育室 （設備等）冷暖房、床暖房、空気清浄機
	給食室、小児用トイレ クッション性のある床材

3 理念・基本方針

[保育理念]おもいっきり遊ぶ。思いっきり学ぶ。

私たちは、「やさしく・つよく生き抜く力」を育みます。

[保育目標]すくすく育つ/健全な心と健康な身体、わくわく遊ぶ/積極的に学ぶ好奇心
豊かな創造力と自己表現力、いきいき過ごす/自ら考え行動する自発力 地
域で育む思いやりと広い視野

4 施設・事業所の特徴的な取組

家庭的な雰囲気の中、低年齢児が安心して過ごせる施設設備や環境作りを行っています。近隣は住宅街で公園も多いため、晴れた日にはお散歩や公園などで戸外活動を楽しんだり、行事の際には地域の方と交流を行っています。月の行事や食育活動のほか、月2回のネイティブによる英語レッスンを実施しており、子どもたちと一緒に職員もおもいっきり遊び、おもいっきり学んでいます。

給食は園内にて調理をしており、昼食は3大アレルゲンの「小麦・乳・卵」を使用しない給食を提供し、アレルギーのあるお子様もないお子様も同じ給食を食べる「おもいっきり給食」という取組を行っています。

5 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和1年9月20日（契約日） ～ 令和2年2月10日（評価結果確定日）
受審回数	初回（令和1年度）

6 総評

◇特に評価の高い点

1. 保育所運営の基本が確立しています。

法人として保育事業に関わる理念や基本方針、事業計画等細部に至るまで定められています。又、業務全般に亘るマニュアルが整備されています。職員の階層別研修や外部研修、園内研修など研修の体系が確立しています。職員の目標管理においては、自己目標の設定と年2回の個別面談で達成度が確認され、評価や指導が行われています。総じて事業運営の骨子の部分から細部に至るまで、きめ細かに整備され運営されています。

2. 働きやすい環境づくりに努めています。

法人の各種福利厚生制度が確立しています。育児や介護の休業制度をはじめ各種の休暇制度が整っています。職員は一定以上の休暇の取得が義務付けられているほか家族愛休暇なども取り入れています。子育てと仕事（両立支援制度）を積極的に進めている企業として、次世代認定マーク、「くるみんマーク」と「トモニンマーク」を取得しています。

3. 安全な食事への取り組みが図られています。

「おもいっきりみんなで食べられる給食」を保育園の給食方針として掲げて、三大アレルギー食材である「卵・乳・小麦」を使わない献立を導入し、アレルギーのある子どもみんな一緒に食べられる給食を提供しています。季節感のあるもの、郷土料理などを取り入れた献立を作成し、子どもの食に関する経験を広げています。有害な食品添加物や遺伝子組み替え食品、加工品は極力使用せず、安全な食材を使用し、料理は薄味で、子どもの味覚の発達を大切に育てています。

◇改善を求められる点

1. 保育園独自の取り組み

全国展開している法人の保育園であり、運営の基本的な体制が定められています。保育園として、安定的に継続した経営のための中長期の計画を始め、保育の質を高めるための自己評価など保育園独自の取り組みが望まれます。

7 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今後、自己評価を導入予定である。園自体の振り返りや保護者アンケートを行い、次年度へ向けての計画に活用していきたい。

また、中長期計画については、地域の社会資源として長期に渡って地域貢献が出来るよう、安定した園児の受入れを行い、収支管理を適切に行っていきたい。

8 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙のとおり（施設の区分に応じ福祉サービス第三者評価結果票を添付する。）

**令和元年度 宮城県福祉サービス第三者評価結果票
保育所(園)**

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念・基本方針が確立・周知されている。			
① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	法人としての理念、基本方針が確立している。保育園の理念及び保育目標が定められており、パンフレットやホームページに掲載されている。保護者には入園時に入園案内兼重要事項説明書を用いて説明している。職員には入社時の研修を始め年度末の振り返りや年度初めの職員会議などで周知が図られている。	a	1
2 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
① 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	保育園では、福祉や保育制度の改正などに注目している。市役所の担当課へ出向き、市の福祉計画や待機児童の状況を伺っているほか、毎月、ホームページを閲覧してエリア内保育所の入所者や待機児童数等を把握している。又、保育園の毎月の収支を分析し経営状況の把握を行っている。	a	2
② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	保育園の運営状況や収支報告を毎月法人支店へ報告している。保育園では職員会議などで経営状況を話し合い、課題を明確にしたうえ、園児の確保に力を入れ勧誘活動を積極的に行い確保に努めている。	a	3

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
3 事業計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	法人の中長期計画(VISION25、2019~2025)が策定されている。しかし保育園独自の中長期計画の作成には至っていない。企業主導型保育園の特性を踏まえた中長期の取り組みと計画の作成が望まれる。	b	4
② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	単年度の事業計画は明確に策定されている。今後、保育園としての中長期計画の策定を図るとともに、中長期計画を反映した単年度の計画が望まれる。	b	5

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 事業計画が適切に策定されている。			
① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	年度末の職員会議で振り返りを行い、新年度の計画について意見を取り事業計画書を策定している。事業計画書は職員に回覧され、更に職員会議等で周知が図られている。しかし、計画の実施状況については、評価の方法、見直しの時期などが定められていない。評価に対しては職員・保護者の意見を取り込めるような手順等を含めた策定が望まれる。	b	6
② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	入園時に入園兼重要事項説明書等をもとに保護者に説明が行われている。事業計画の主な内容がホームページに掲載されており、保護者会の折に資料とともに説明されている。行事等は園便りに載せ、開催が近くなると個別の案内や参加の確認などが行われ出席率が高い。	a	7
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組			
(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	毎月行われる職員会議で、事業の進捗状況や保育の状況が話し合われ、事業に反映されている。しかし、保育園事業全般の自己評価は行われていない。今年から3年に1回の第三者評価を受審しており、保育の質の向上に向けた姿勢が伺える。今後、保育園事業全般の自己評価を取り入れる等職員全体での取り組みが望まれる。	b	8
② 評価結果に基づき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	職員は個別に保育目標を掲げ定期的に施設長が確認している。しかし保育園全般の課題の抽出・分析、解決・改善の取り組みには至っていない。第三者評価の結果等を参考に職員全体で改善の取り組みが期待される。又、自己評価による改善の取り組みが望まれる。	b	9

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
Ⅱ 組織の運営管理			
1 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	施設長業務マニュアルに施設長の役割と責任が規定されている。施設長は平成31年1月1日に就任しており、就任時に職員や保護者に施設長の役割と責任等について口頭で意思表示をし、職員には会議の折に伝えている。しかし、周知は口頭にとどまっており、文書化して伝える等周知の仕方についての工夫が望まれる。	b	10
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	施設長は法人のコンプライアンスに基づき教育・研修を受けており、利害関係者(取引企業等)との適正な関係を保持している。又職員には保育業務マニュアル等で法令の遵守について指示している。今後、遵守すべき法令等の把握や体制の整備とともに、職員への周知の取り組みが望まれる。	b	11

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 保育の質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している。	施設長は年2回の人事考課に基づいた職員の個人面談で意見を聞いている。又、毎月の職員会議で自由に意見を出し合うことや毎月園内研修を行うなど保育の質の向上に向けた取り組みをしている。しかし、保育園独自の評価や課題の分析に至っていない。保育の質の向上に向けた今後の取り組みが期待される。	b	12
② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	施設長は法人支店と連携して人事・労務の適正な運用を図るとともに、毎月収支の分析を行い正常な運営に努めている。保育園の担当職員は契約企業を訪問し園児の募集について情報交換を行っている。又、地域の子育て支援の母親に保育園の紹介をするなど園児の確保に努めている。保育園の経営について職員会議や職員研修で共通理解を図り、職員全体で事業運営に取り組んでいる。	a	13
2 福祉人材の確保・育成			
(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	法人として、保育園の運営に必要な福祉人材の確保や人員体制の方針、計画等が定められている。保育園に必要な職員の採用や配置は法人支店が保育園と調整して行っている。現在、保育園の運営に必要な職員は整っている。	a	14
② 総合的な人事管理が行われている。	法人において保育所職員の「期待する職員像」が定められている。法人の人事理念や処遇基準などにより、人事管理が法人支店で行われている。しかし、人事基準やキャリアパス(昇進・昇格の基準、賃金の水準、必要となるスキルの水準やスキルを獲得するための機会等)の内容が職員には周知されていない。職員に対し人事制度などの周知がよりいっそう望まれる。	b	15

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	法人の福利厚生制度が確立している。休日休暇・休業制度や両立支援制度が充実しており、保育園においては年次有給休暇等の取得が励行され実施されている。又、健康診断やインフルエンザ等の予防接種が就業時間内に保育園の負担で行われている。園長は年2回の個人面談をはじめ職員会議や日頃のコミュニケーションを通して、何でも話しやすい環境作りに取り組み、働きやすい職場づくりに努めている。	a	16

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	年度当初に、職員は施設長とのコミュニケーションを通して、法人の目標管理シートを用いて、取り組み目標を書いて提出している。年2回の施設長の個別面談があり達成度や評価に基づくアドバイスが行われている。	a	17
② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	法人において、職員研修の基本方針が定められているほか、入社時研修をはじめ3カ月間のOJT研修、フォローアップ・コーチング研修、ミドルマネジメント研修など体系的に研修が行われている。その他外部研修や保育園内において毎月研修が行われている。	a	18
③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	法人が行う階層別研修や職種別研修には全職員が受講することになっている。職員の個別研修の予定や実績が把握されている。保育園においては全職員の意見を基に保育園の年間研修計画が策定され実施されている。法人支店から自治体主催の外部研修などの案内があるが定員等の関係から希望どうりには参加できていない。外部研修などの範囲を広げる等、希望する職員が参加出来るような取組が期待される。	b	19
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	該当なし		20
3 運営の透明性の確保			
(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評 価 項 目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	法人の事業報告、決算状況がホームページに公表されている。保育園の運営や子育て支援の内容などもホームページに公表されている。苦情相談や体制については保育園に掲示し、ホームページに掲載されており、必要に応じて公表が行われる仕組みになっている。しかし、保育園の事業計画や事業報告、予算・決算情報等の公開には至っていない。今後、適切に公開されることが望まれる。	b	21

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	保育園の運営は法人が定めている、事務分掌、経理規程等のルールに基づき行われている。又、法人支店の内部監査を毎年受けている。その他、企業主導型保育施設として仙台市や公益財団法人児童育成協会の指導監査を受けている。	a	22
4 地域との交流、地域貢献			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	地域との交流についてはホームページやパンフレット等に文書化されている。ハロウインの仮装をして近隣の企業を練り歩きお菓子を戴いたり、又、消防署を見学している。保育園が行っている子育て支援は「なかよし広場」として毎月開催し、地域の未就園児を対象に保育園の子どもたちと一緒に活動を楽しんでいる。子育ての悩みや不安のある方への相談に保育士が対応している。	a	23
② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	該当なし		24
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	必要な社会資源をリスト化して所定の場所に掲示し、職員が活用しやすいようにしている。区の担当課へは定期的に訪問し情報を得るようにしている。また、児童相談所、保健所、嘱託医、消防署、交番等との連携が行われている。必要に応じて保護者へ情報提供などを行っている。	a	25

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	保育園が実施する子育て支援や関係機関との連携に努めている。又、区役所へ定期的に訪問し待機児童の把握を行っている。今後は地域の各種会合への参加や災害時の連携・地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めることが望まれる。	b	26
② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	地域に関わる事業として子育て支援を行っている。月1回未就園児を対象にした「なかよし広場」を開催し、園児と一緒に遊ぶなどの取組みを行っている。又、保育士による相談支援も行っている。保育園を開設して2年8か月になるが地域へ出向いての交流はこれからである。更に自治会や他団体との交流を積極的に行い、保育園としての専門性を活かした育児相談など多様な相談にも応じられるよう期待したい。	b	27

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
1 利用者本位の福祉サービス			
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
① 子どもを尊重した保育について共通の理解を持つための取組を行っている。	パンフレットや入園案内兼重要事項説明書に保育理念や基本方針が記載され、年度初めの保護者懇談会で理念や方針など説明している。職員全員が保育業務マニュアルを携帯しており、又、各種のマニュアルを使用して定期的な研修を行うなど、子どもを尊重した保育についての基本姿勢は周知されている。	a	28
② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	人権擁護に関わるマニュアルが整備され、職員への研修により理解されている。又、児童虐待防止チェックリストを活用し、施設長は必要に応じて職員の相談に応じるなどプライバシー保護に努めている。子どもの生活の様子をホームページや写真に掲載する場合は保護者から同意を得ている。	a	29
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	ホームページに保育園の概要などが掲載され、保育内容や特徴的な取組みなど利用希望者に情報が伝わるようにしている。適宜見直しも行っている。又、保育園のポスターを最寄りの地下鉄駅に掲示したり、見学者にはパンフレットで説明し、必要な情報を提供している。	a	30

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	入園時には入園案内兼重要事項説明書などで保育内容や行事など保育園での生活をわかりやすく説明し、保護者から同意を得ている。又、保育内容や行事の変更の際は掲示板に掲示して保護者にお知らせしている。	a	31
③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	保育園の変更があった場合はその後の対応について保護者が相談できる担当窓口として施設長・保育コーディネーターを配置している。変更時の引継ぎを口頭で行っているが、今後は子どもへの保育の継続性に配慮した手順や引継ぎ文書の作成が望まれる。	b	32
(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	利用者満足に関する調査の担当者として施設長を配置している。年2回保護者会を開催し意見・要望等を聞き分析、検討している。行事に対してはアンケートを実施し、次の行事に活かすようにしているが、その結果を保護者にフィードバックされていない。今後は利用者満足を把握する仕組みを整備し、その向上に向けた取組が望まれる。	b	33
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	相談・苦情処理受付担当者2名を配置し、施設長・ニチイ学館仙台支店長の名前が明示され、園の掲示板に掲示されている。又、入園時に保護者に入園案内兼重要事項説明書を配布し説明している。苦情解決は本部で行っている。今後は保育園として保護者にわかりやすいフローチャート等を整備し、それを掲示して周知を図るとともに、入園案内兼重要事項説明書に苦情解決責任者や第三者委員を明記されることが望まれる。	b	34

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	相談室は事務所の中に設置されているので、今後は保護者が相談しやすい工夫(衝立など)や意見箱の設置場所の検討など誰もが活用しやすい環境づくりが望まれる。	b	35

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	保護者からの相談や意見に対しては、職員は保護者とのコミュニケーションを大切にしている。保護者アンケートの実施等で意見を聴いたり、送迎時に保護者との会話で日常生活の様子を把握するなど迅速に対応している。	a	36
(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	リスクマネジメント責任者に施設長を配置し、委員会を設置するなど体制が構築されている。危機管理マニュアルや安全管理マニュアルが作成され、避難訓練(毎月)や防犯訓練(隔月)等が計画的に行われている。また、ヒヤリハット報告書を基にミーティングで発生要因を分析し、改善策など職員間で話し合っている。安全確保や事故防止に関する内部研修・外部研修を行っている	a	37
② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	感染症対策については施設長を責任者として配置している。衛生管理マニュアルを使用して感染症の予防や安全確保のための勉強会を定期的に行っている。マニュアルの見直しもその都度行っている。入園案内兼重要事項説明書や年間保健計画、園だより等で感染予防策や発生状況等を保護者に伝えている。	a	38
③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	子どもの生命を守るために危機管理マニュアルや非常災害対策計画を基に定期的に研修を行っている。毎月の避難訓練では様々な災害を想定して実施しており、消防署立ち合いでの総合訓練を行っている。備蓄の物資管理マニュアル、災害時の連絡体制、緊急時のフローチャート等を整備し、点検や備蓄の確認等を行っている。	a	39
2 福祉サービスの質の確保			
(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	標準的な実施方法は保育業務マニュアル、入園案内兼重要事項説明書、全体的な計画等に記載され日々の業務が行われている。今後は標準的な実施方法に基づいて、各職員が保育業務マニュアルを活用し標準的な保育が実施されているかを確認する仕組みが望まれる。	b	40

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	標準的な実施方法(文書)の見直しは法人本部で定期的実施し、改訂履歴が記載されている。検証・見直しにあたり職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みが望まれる。	b	41
(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
① アセスメントに基づく指導計画を適切に策定している。	入園時に児童票やヒアリングによって身体状況や生活状況を把握しており、全体的な計画に基づいた指導計画書を策定し、実施のプロセスや責任及び役割分担体制が作られている。各クラス担任は保育日誌や会議等で子ども一人ひとりの成長の様子をアセスメントし、連絡ノートなどによる保護者の要望などを踏まえて計画を策定している。	a	42

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	指導計画の目標やねらい・具体的な保育支援や解決方法の検証等、定期的に見直しが行われている。又、策定した指導計画に基づき、定期的にPDCAサイクルで評価・見直しが行われている。今後は計画の変更に関する保護者の意向の把握に努めることが望まれる。	b	43
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保育の実施状況の記録は法人で定めた様式に記録されている。月間計画書、個別月間指導計画、週日案、保育日誌、給食日誌等に適切に記録され、職員間で共有している。書き方については施設長がチェックをして統一を図っている。	a	44
② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	子どもに関する記録の管理は法人の文書管理規程を基に保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定等を定めている。職員は記録の管理についての研修を受けており、個人情報保護規程を理解し遵守している。又、個人情報の取り扱いについては、入園時に入園案内兼重要事項説明書を保護者に配布し説明しており周知されている。	a	45
A 福祉サービスの内容			
A-1 保育内容			
A-1-(1) 保育課程の編成			
① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	保育理念、保育の方針や目標に基づいた全体的な計画が、法人本部で作成されている。今後は、地域の実態に対応し、当園の独自性を出した特色ある取り組みに向けて、職員と共に定期的に評価を行い、保育課程の見直しを実施していくことが望まれる。	b	46

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	室内、寝具・玩具・オムツ替え用マット・乳児用ラック等は、毎日消毒し、常に清潔な状態が保たれている。又、冷暖房・床暖房・空気清浄器が設置され、床材もクッション性があり、乳幼児が1年中、安全・快適に過ごせる環境が整っている。	a	47
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	入園時の聞き取り、送迎時の保護者との伝達や連絡ノートを通して、発達の個人差、家庭での様子や生活リズム、体調等を把握し、職員間で周知・共通理解のもとに保育している。園児が少人数のため、一人ひとりに目を向けた関わりができる環境であり、全職員が園児及び保護者の把握ができています。	a	48
③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	毎月、個別指導計画を作成し、子ども一人ひとりを大切にされた保育を行っている。園児の入れ替わりが多く、継続した指導が難しい現状ではあるが、異年齢児の保育の利点を生かして個々の意欲を育て、発達に即した援助・見守り等の働きかけの工夫が望まれる。又、発達の記録では、保育士がどのように配慮・留意したかの記載も望まれる。	b	49
④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	その日の天候や子どもの状態を見ながら、週1~2回の散歩を行ったり、玄関や戸外で安全なスペースを設け、水や氷・雪等の身近な自然に触れる遊びを取り入れたりしている。室内では、リズム遊び、段ボールで作った遊具等を使っての運動遊び、発達に即した手作り玩具での遊びなど工夫している。	a	50

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
<p>⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>送迎時の保護者との関わりや連絡ノートを通して、体調・食事・排泄・睡眠等の状況を伝え合い、生活の連続性に配慮している。気になる状況が見られたときは、早目に保護者に連絡し、必要に応じてデジカメで撮影し、保護者に知らせている。今後は、安全に配慮して発達に応じた環境整備や保育士の関わり・援助等への配慮が望まれる。又、体調の悪い場合に落ち着いて過ごせるスペースの確保を期待したい。</p>	b	51
<p>⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>個別指導計画を立案し、一人ひとりに合わせた援助を行っている。基本的な生活習慣の自立に向けては、大人との安定した関わりを基に「自分で」という気持ちを育て、「できた」という達成感や自信につながるような援助や働きかけが望まれる。又、日々の子どもの姿や成長の様子を保育士と保護者で共有するための積極的な家庭への働きかけと連携が望まれる。</p>	b	52

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	入所対象が0歳～2歳児のため、該当しない。		53
⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	現在、障害児の申し込みはないが、受け入れ体制はある。		54
⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	開園時間は、8:00～19:00であるが、現在18:00には全員降園している。毎朝2回の職員ミーティングと「朝・帰り引継ぎ表」を使用し、登・降園時刻・検温・投薬・連絡事項等を確認し、全職員が全園児の状態を把握する体制が整っている。	a	55
⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	入所対象が、0歳～2歳児のため、該当しない。		56
A-1-(3) 健康管理			

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
① 子どもの健康管理を適切に行っている。	入園案内に健康管理について記載し、保育士への周知も図られている。既往症・予防接種等、随時保護者から情報を得て、児童票に記載している。感染症発生時には、症状・対応等を玄関に掲示し、保護者に知らせている。SIDSについては、午睡時観察と共に睡眠状態を確認し、チェック表に記録している。また、年2回、強化月間を設けたり、外部研修会に参加したりして、職員の意識の向上を図っている。更に、保健計画を作成し、健康管理の整備を行っている。	a	57
② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	健康診断(2回/年)、歯科検診(1回/年)を実施し、検診結果を児童票に記載し、保護者にも連絡している。2歳児には食後のうがいを実施したり、業者による手洗い指導を受けさせたりして、日々の保育に反映している。	a	58
③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	軽い卵アレルギーの子が1名いる。全職員に周知徹底し、食事用トレーにシールを貼り対応している。入園時や病院受診時に、医師の診断書を基に保護者との面談を行っている。外部研修会に参加して、最新の情報を職員間で共有している。	a	59
A-1-(4) 食事			
① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	年間食育計画が作成され「おもいっきりみんなで食べられる給食」を実施している。3大アレルギー原因食材除去の導入献立により、全園児が同じ給食を一緒に楽しめるよう配慮している。食育活動も計画的に保育に取り入れ、年齢に合わせて無理なく食への興味・関心を高める取り組みが行われている。毎月、献立表を配布し、毎日の給食サンプル展示、給食試食会・食育活動の写真掲示等で、保育園の取り組みを保護者に伝えている。	a	60

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	各種マニュアル(給食衛生・食中毒・食物アレルギー・調乳・離乳食の作り方や進め方等)が整備され、安心・安全な給食が提供されている。献立には、行事食や郷土食を盛り込み、子どもの食体験を広げるよう取り組んでいる。栄養士は毎日、連絡帳で家庭の食生活の状況をチェックし、保育室に入って子どもの食事の様子や生活の様子等の確認を行っている。	a	61
A-2 子育て支援			
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	入園時、保護者に入園案内を配布し、保育理念や保育目標、保育内容、保育時間、年間行事、持ち物等について説明している。毎月、園だよりを発行し、その月の保育内容、行事等の取り組みについて知らせている。日々の子どもの姿、様子については、口頭で保護者に伝え、園のホームページや連絡帳等を通して、家庭に伝えている。又、保育参観・個別面談を実施し、子どもの姿や成長の様子を知らせ、保護者の思いを聞き取り、家庭との連携を図っている。	a	62

事業所名(ニチイキッズニッセイみらい仙台しんてら保育園)

評価項目	評価結果コメント記入欄 (調査機関)	評価結果 (a~c)	連番号
A-2-(2) 保護者等の支援			
① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	相談対応の体制が整備されており、時間と場所を設けて、個別面談し、保護者の支援に努めている。朝夕の送迎時に、気になる様子が見られた子どもの保護者には、職員から積極的に声掛けや働きかけを行い、保護者との信頼関係を深めるよう配慮している。	a	63
② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	登園時の視診や子どもとの関わり、午睡前等に、子どもの心身の状態の観察を行っている。強化月間(2回/年)を設け、児童虐待防止マニュアルを基に職員研修を行い、対応への振り返りを行っている。今後は研修会への参加を通して職員の理解を深め、虐待の早期発見への意識付けを継続的に図っていくことが望まれる。又、目につきやすい場所への児童虐待防止ポスターの掲示等で、保護者への積極的な働きかけも望まれる。	b	64
A-3 保育の質の向上			
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
① 保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	職員個々の自己評価(2回/年)により、保育目標設定と振り返りが行われている。今後は、「子供の成長をとらえる視点」「職員自らの保育力をとらえる視点」で自己評価を保育過程全体の振り返りにつなげ、職員相互の学び合いと保育園全体の組織的専門性の向上となることを期待する。	b	65